

スーダン概要

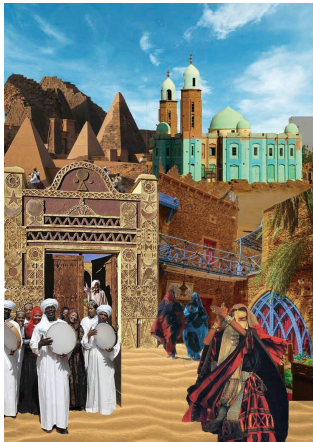
スーダン：伝統、多様性、そして可能性の地
 アフリカで3番目に広いスーダンは、豊かな文化的伝統と息をのむほど美しい景観を持ち、経済面では計り知れないポテンシャルを秘めた国です。中東とアフリカが交わる場所に位置し、命の源であるナイル川の恵みを受けて、何千年にもわたり歴史と文明を築いてきました。

スーダンの歴史は古代ヌビア王国を起源とし、ユネスコの世界遺産「メロエ島の考古遺跡群」は古代の繁栄を物語る象徴的存在です。現在では、スーダンの活気あふれる文化はこの国の多様性を象徴するものであり、500以上の民族による言語、伝統、芸術表現がモザイクを織りなしています。スーダンの音楽、ダンス、芸術は、人々のしなやかな強さと創造性を表すものです。

経済は農業を中心に発展し、肥沃な土地からはソルガム、アラビアゴム、綿花などの主要輸出品が生産されています。金や石油などの鉱物資源は、投資と持続可能な開発に対して非常に大きな可能性を提供しています。近年の改革と、経済の多様化に焦点を当てた取り組みは、成長と可能性の新たな時代の到来を告げるものです。

スーダンの景観も同様に人を惹きつけます。北部の広大な砂漠や古代遺跡から、南部の緑豊かなサバンナや野生動物が生息する国立公園まで、冒険、文化、エコツーリズムの目的地として他にはない魅力を放っています。

2025年大阪・関西万博で、スーダンの温かさ、伝統、将来性をぜひ体験してください。



©Expo 2025

スーダン館



スーダンの豊かな文化と自然の恵み、
 イノベーションを発見してください。
 伝統と進化を融合させて、
 持続可能な未来へと向かう国。

展示コンセプト

スーダン：時を経て伝統と未来が躍動する地

2025年大阪・関西万博のスーダンパビリオンに足を踏み入れると、古代の砂が歴史を語り、活気あふれる都市が変革の調べを奏でる旅が始まります。アフリカの鼓動する心臓、スーダンは、その魂、つまり伝統という黄金の糸と、再構築された未来の力強い筆致が織りなすまばゆいタペストリーを体験する空間にみなさまを誘います。

悠久の時を超えてそびえ立つ、壮麗なヌビアのピラミッドと、世代を超えて紡がれたスーダンの工芸品の美しさを堪能してください。一つひとつの作品が、長い歴史を語るストーリー。ナイル川のせせらぎを聞きながら、その流れが育む緑豊かな風景と、多様性を最大の宝とする人々の精神に触れてください。

伝統と変革が調和する世界に没入しながら、スーダンが誇る自然の恵みと持続可能な未来への志をご覧ください。ゴマの豊かな香りから、金やアラビアゴムが持つ輝かしい可能性に至るまで、すべてがスーダンの強靭さと未来への希望を体現しています。

2025年大阪・関西万博では、スーダンは単なる展示の一つではなく、インスピレーションをもたらす場となります。過去と現在、芸術と産業、夢と決意を織り交ぜ、共通のグローバルな未来へのビジョンを描き出します。スーダンへ、ようこそ。ここでは、あらゆる瞬間が傑作となり、見いだされるのを待っています。



スーダンの歴史： ダイナミックな文化的で歴史的なマイルストーン

スーダンの歴史は、影響力ある文明と文化的変革を特徴としています。ナイル川流域で栄えたクシュ王国は、メロエにおける建築面での偉業や古代エジプトとの交流で広く知られていました。その後の数世紀には、キリスト教を信仰するヌビア王国が支配する時代が続きましたが、イスラム教の広がりが地域の伝統を大きく変えることとなりました。19世紀には、オスマン帝国とエジプトの支配下で行政改革が進められ、その後マフティスト国家が台頭しました。英国とエジプトの共同統治時代には、インフラの整備が進む一方で、民族主義的な機運が高まりました。そして1956年に独立を達成したスーダンは、今もなお、そのダイナミックな文化と歴史的マイルストーンという伝統を表現し続けています。

スーダンの貿易：アラビアゴム

スーダンは世界最大のアラビアゴムの生産国であり、世界の供給量の70%以上を占めています。この天然樹脂は、アカシア・セネガルやアカシア・セヤルの木から収穫され、その多用途性で高く評価されています。アラビアゴムは食品、飲料、医薬品、化粧品などで重要な成分として使用され、乳化や安定化の特性が重宝されています。スーダンの肥沃な「ゴムベルト」は国の中央部を横断し、高品質なアラビアゴムの生産を支えています。この産業は何百万人もの生計を支え、持続可能な慣行を推進し、地域の生態系を保全してきました。アラビアゴムは、スーダンの豊かな資源を象徴し、世界の貿易における同国の貢献を示すとともに、さまざまな産業に自然由来のソリューションを提供しています。



スーダンの貿易：高品質なゴマ

スーダンは高品質なゴマの主要生産国で、その優れた含油量と多様な用途で高い評価を受けています。ガダーレフなど肥沃な地域で栽培されているスーダンのゴマは、白と茶の品種が有名で、その純度と風味が世界中の市場で称賛されています。ゴマは、主要な輸出作物と

してスーダンの経済に大きく貢献し、人々の生活と持続可能な農業経営を支えています。タヒニ（ゴマペースト）、お菓子、高級オイルなどに使われ、高い人気を誇っています。スーダンは、オーガニックな生産とフェアトレードを重視し、進化する国際市場のトレンドと品質に対する要求に合わせて、世界のゴマ貿易における主要国としての地位を引き続き強化しています。



スーダンの家畜：繁栄の中心

スーダンはアフリカ有数の畜産国であり、1億頭以上の牛、ラクダ、羊、ヤギが、国土の64%を占める広大な自然牧草地で草を食んでいます。オーガニックで高品質な製品で有名な畜産部門は、スーダンのGDPの20%以上を占め、食料安全保障、農村部の生活、特に湾岸諸国やアフリカの輸出市場において極めて重要な役割を果たしています。畜産部門では、スーダンの豊かな農業の伝統を象徴する高級肉、乳製品、皮革を供給しています。この産業のさらなる発展にあたっては、持続可能な慣行を通じて干ばつや牧草地の劣化などの課題に取り組むことが、その潜在能力を最大限に引き出すカギとなります。

